

佐賀県高度情報化推進協議会

令和7年度 第2回幹事会議事録

【日時・参加者】

- 1 日 時：令和7年9月30日（火）佐賀県市町会館 2F 小会議室
14：00～15：10
- 2 参加者：14名（現地：座長・幹事10名、オンライン：2名、副事務局長・事務局員2名）

【次 第】

- 1 開 会
- 2 開会挨拶
- 3 議 事
 - (1)令和7年度 事業進捗報告について
 - (2)令和7年度 第2回 ICTに関する講演について
 - (3)その他
- 4 議 事 録
 - ・今回、役員改選があつて初めての幹事会なので、議事を始める前に幹事の自己紹介を行った。
 - ・羽石幹事の座長が承認された。
 - (1) 令和7年度 事業進捗報告について
 - ①・唐津ビジネスカレッジ・佐賀コンピューター専門学校と嬉野市・名村情報システム(株)・SDC ソリューションズ(株)・ニシム電子工業(株)との企業説明会について事務局より説明
 - ・サガシル：11月30日（日）SAGA アリーナに出展(ニシム電子工業(株)(有)佐賀情報ビジネス・佐賀県ネットワーク・セキュリティ対策協議会)について事務局より説明
 - ②ICT 利活用促進事業補助金利用は、下記3団体に交付決定されたことを事務局より説明
 1. NPO 法人シニアネット佐賀
 2. NPO 法人シニア情報生活アドバイザー佐賀

3. 佐賀県中小企業団体中央会

③情報モラル啓発イベントの実施について

- ・「令和6年度 ネットの安全・安心けいはつコンクール受賞作品」を JR 佐賀駅の大型サイネージに10月1日（水）～10月31日（金）投影展示することを事務局より説明。

羽石座長：今回初めての方もいらっしゃるのでは、もう少し詳しく説明をお願いします。

事務局：令和7年度の中期推進項目として3項目があり、1つ目が ICT 利活用推進、2つ目が情報セキュリティ普及啓発、3つ目が DX 推進となっております。

DX 推進に関して昨年アンケートを取ったところ、人材不足・人材確保の問題があがってきたので、学生との接点づくりとして学校での企業説明会を開催しようという事になり、名村情報システム(株)・SDC ソリューションズ(株)・ニシム電子工業(株)・嬉野市が手を挙げ、実施しているところです。

また、サガシルについては、ニシム電子工業(株)・(有)佐賀情報ビジネス・佐賀県ネットワーク・セキュリティ対策協議会の3会員が希望をされており、今後出展に向けて話し合いを行います。2つめが情報セキュリティ普及啓発という事で、JR 佐賀駅の大型サイネージに10月1日（水）～10月31日（金）に投影展示をします。

3つめが ICT 利活用推進に向けて補助金事業を行っており、これまで NPO 法人がデジタルデバインド対策に取り組まれてきた。近年は生成 AI 等の普及ということでそれ以外の会員の方の利活用もされてきているところ。

林幹事：参加検討が3会員となっているサガシルの取り組みへの評価はどのように。

事務局：個別で出展なさっている会員さんもいらっしゃいますが、いきなり個別で出展するのはハードルが高いと思われる会員さんや興味をお持ちの会員さんに、まずは雰囲気やどういうものなのかを知って頂き、今後に繋がればと思っています。事務局としても今回は、会員さんに対してサガシルの説明が不足していたと感じておりますので、来年度はサガシルの説明会開催を考

えています。

羽石座長：最初は県内就職率アップを目指していましたが、今は一般的な合同説明会と違って、低学年の学生と企業の接点づくりという事になっています。出入り自由なので、他の会員さんも視察に行かれてはどうか。

川越幹事：サイネージは有料で協議会が委託しているのですか。

事務局：有料で広報を委託しています。

羽石座長：余談ですが、先日韓国に行きましたら、至る所にデジタルサイネージがあり活用されていました。サイネージを作る人、ソフト面のコンテンツを作る人が必要で経済効果がすごく見込まれる。佐賀大学教室内にはモニターが設置されていますが、何も映されていない時間があるので、その時間を企業が有効活用されてもいいかなと思います。

堤 幹事：幹事会資料についてですが、議事（２）ではなく、議事（１）では。またサガシルの上、１．ICT利活用実証・体験促進事業についてとありますが、２．ICT利活用実証・体験促進事業についてでは。

事務局：議事（１）に訂正させていただきます。サガシルは１．ICT利活用実証・体験促進事業ですので、そのままの１です。

(2)令和7年度 第2回 ICTに関する講演について

- ・令和7年10月27日（月）14時 ホテルマリターレ創世で開催され
今回は、懇親会を開催しないことについて事務局より説明。

日當幹事：県内自治体のAI活用状況はわかりますか。

事務局：県では把握してなく、国が調査しているので、次回幹事会でお話できればと思います。

川越幹事：生成AIは過去に講演されたことは、ありますか。

今、巷に生成AIの講演は溢れているので、テーマ設定を工夫して差別化を図る必要がある。

事務局：過去にマイクロソフト社の方に講演して頂きました。

ツールだけでなく、AIエージェントなど研究されている方なども考えています。

どなたか推薦する講師の方がいれば、事務局が交渉したいと思い

ますが。

堤 幹事：情報を沢山お持ちのNTT川越幹事がいらっしゃるので、後で聞かれてみてはどうですか。

(3)その他

○協議会 HP の Web サーバー移行について

・事務局より説明後、青木幹事補足説明。

林 幹 事：ページレビューはどのくらいですか。

青木幹事：ページレビューは管理していません。

林 幹 事：情報発信をそんなにされていないのなら、経費をかける必要がありますか。

青木幹事：協議会自体の発信はされています。私の発言の仕方が悪かったですね。

林 幹 事：どこの協会でもホームページはそんなに見られていない。ホームページは必要ですか、無くしては。

事務局：活動の証明にもなるので、ホームページで発信することに意味があると思っています。

羽石幹事：母体がない団体なので、ホームページに何をして、どんな活動をしてきたというコンテンツを残しておくことには意味があると思います。

林 幹 事：県のリリースに出していれば、十分だと思いますが。

事務局：高情協は、県庁の中にあり県庁職員も関わってはいますが、独立した組織です。

青木幹事：サイバーセキュリティが古いのが問題なので、そこを変えた方が良くと思って提案しました。まずは安全・安心をとという事を。

日當幹事：機能が使われていない部分は見直しをすればよいので、提案③で良いのではないですか。あとは使われてないならなくすのか。

羽石幹事：まずは見直しをするという事に異論はないですね。では見直しにあたって、HPで公表する必要性や現在のコンテンツの内容等を事務局で整理のうえで、再度検討をするという事でいいですか。

事務局：今後精査し、幹事会に提案したいと思います。

羽石幹事：他に何かありませんか。なければ、これで終わりたいと思います。

以上